

今後の取り組み

2023年6月21日

定時株主総会

株式会社 **アールエス物流**

事業環境

経済環境

インフレ、地政学リスクなど、景気の先行きに不透明感

電子部品関連

自動車関連：部品不足は徐々に緩和、生産は回復傾向
産業機器：EV、環境関連など、堅調な推移を見込む
民生機器：パソコン、スマホなど、下期以降回復予想
物流業界：需要鈍化に伴う生産減、貨物量大幅減が懸念
航空・海上輸送は需給緩和で競争激化

消費物流

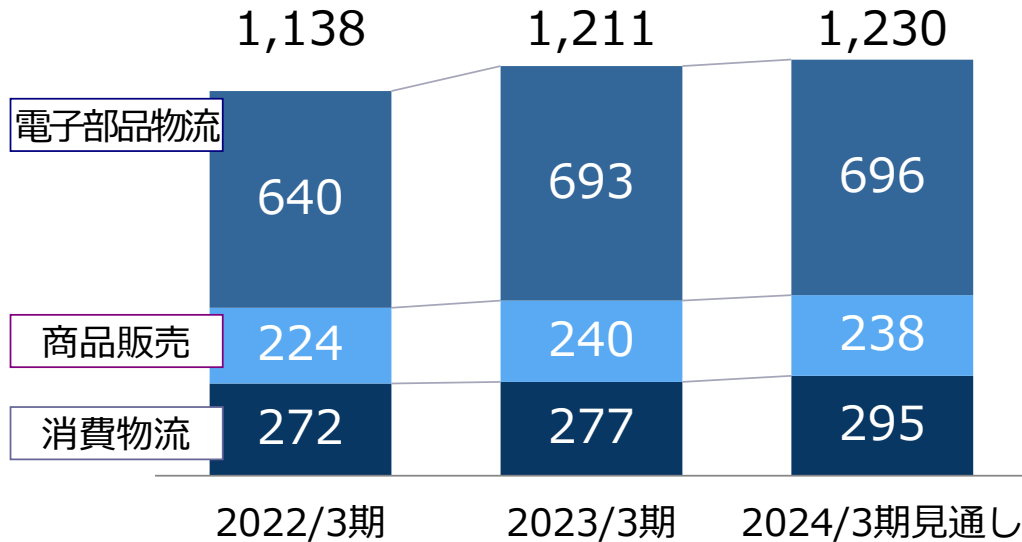
生協宅配：コロナ需要一巡により減少見込み
EC通販物流：サービス消費へシフト、モノ消費の減少懸念

2024/3期業績見通し (連結)

(単位:百万円)	2022/3期	2023/3期		2024/3期	
	実績	実績	増減率	見通し	増減率
売上高	113,814	121,165	+6.5%	123,000	1.5 %
営業利益	6,021	8,043	+33.6%	6,700	△16.7 %
経常利益	6,166	8,790	+42.6%	6,200	△29.5 %
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,598	5,032	+39.9%	3,800	△24.5 %

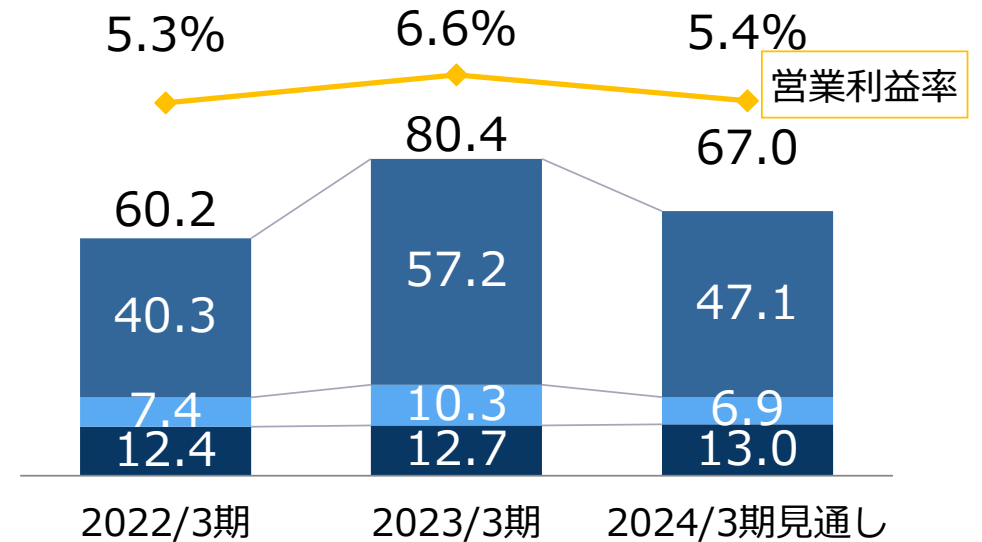
■ 売上高

(単位: 億円)



■ 営業利益

※各セグメントの売上高・営業利益は連結消去後の数値です
(単位: 億円)

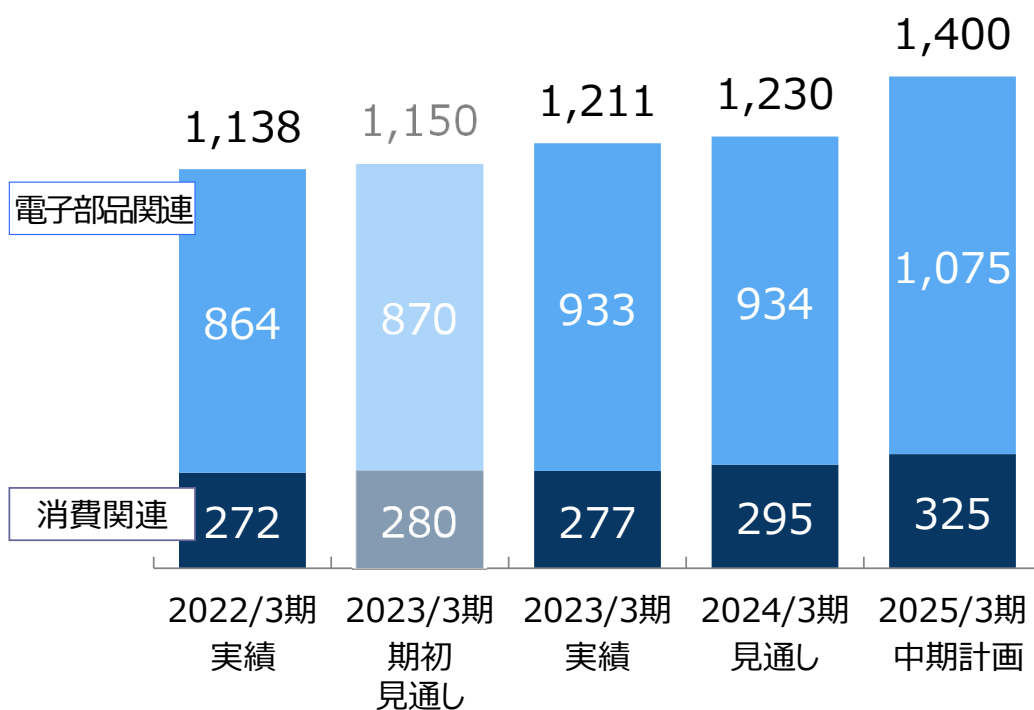


第5次中期経営計画

2024/3期は概ね第5次中期計画どおり推移

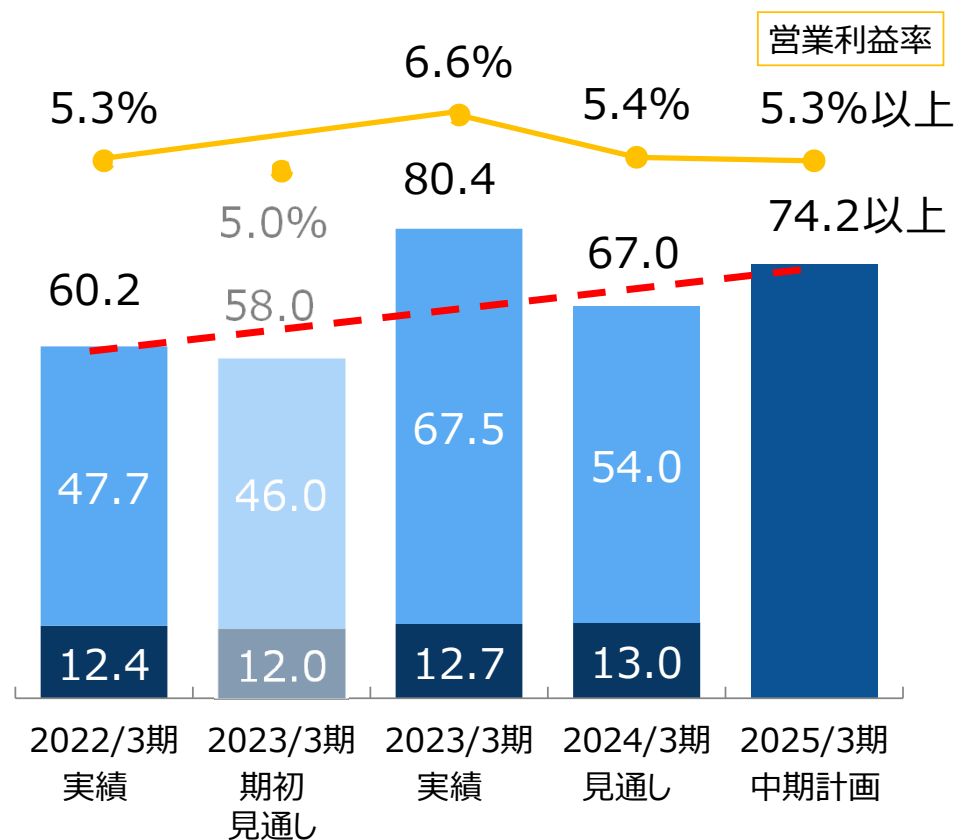
■売上高

(単位：億円)



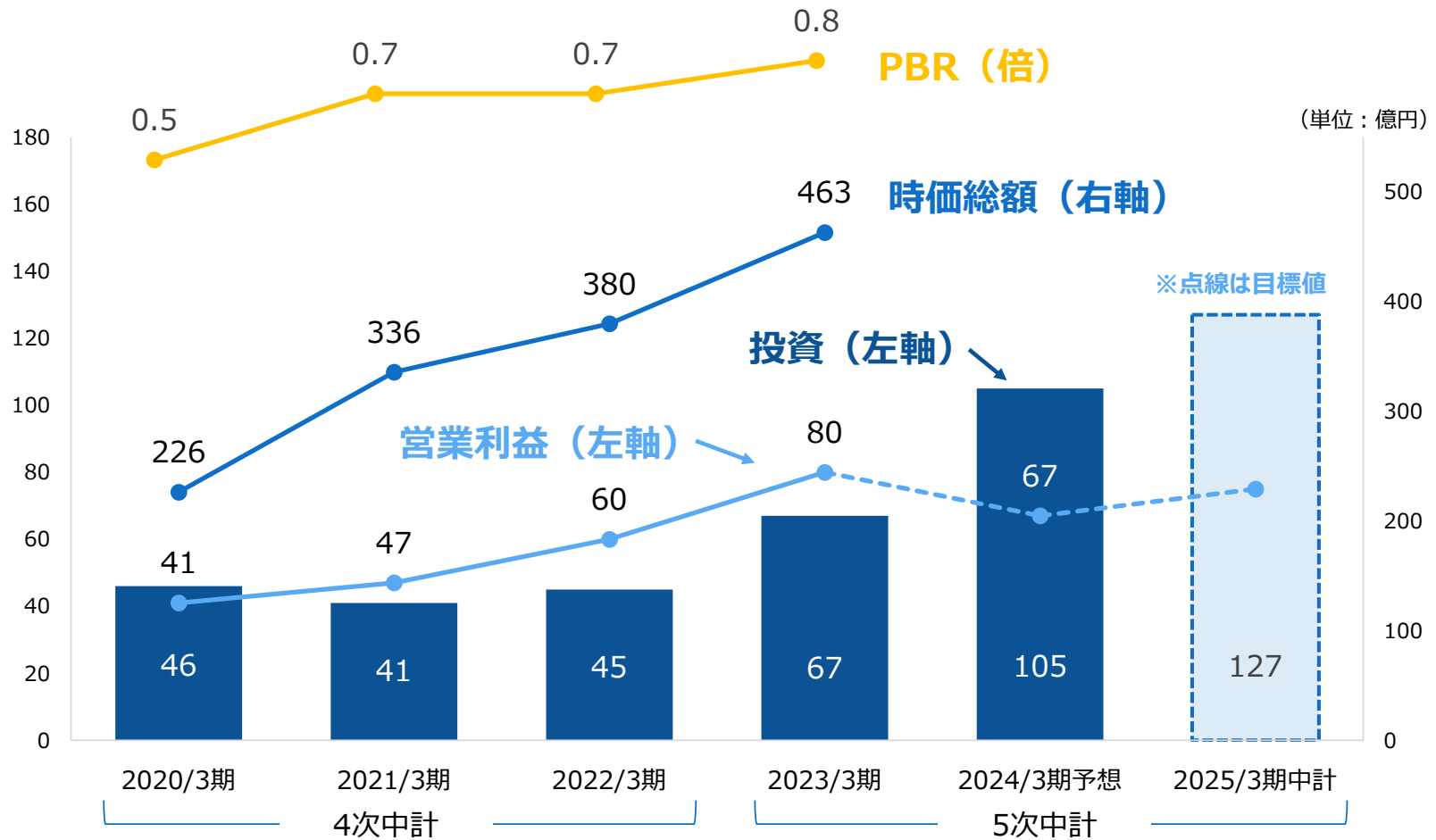
■営業利益

(単位：億円)



投資と利益成長・時価総額の推移

利益成長を加速するため投資を拡大



企業価値向上に向けた投資・資本戦略

(質と量のための) 投資を拡大、成長を加速

- 成長投資分野
 - ネットワーク&ロジスティクス・キャパシティの拡大
 - 新市場プラットフォーム構築
 - 自動化&環境対応、非財務資本の充実
 - 資本業務提携 (M&A)
- 投資 (4次中計)約150億円 ⇒ (5次中計)約300億円 ⇒ (6次中計)積極投資継続

資本効率の向上

- ROE (5次中計) 目標7% ⇒ (6次中計) 8%^へ
株主資本コスト(5~6%)を上回るROE

株主還元向上

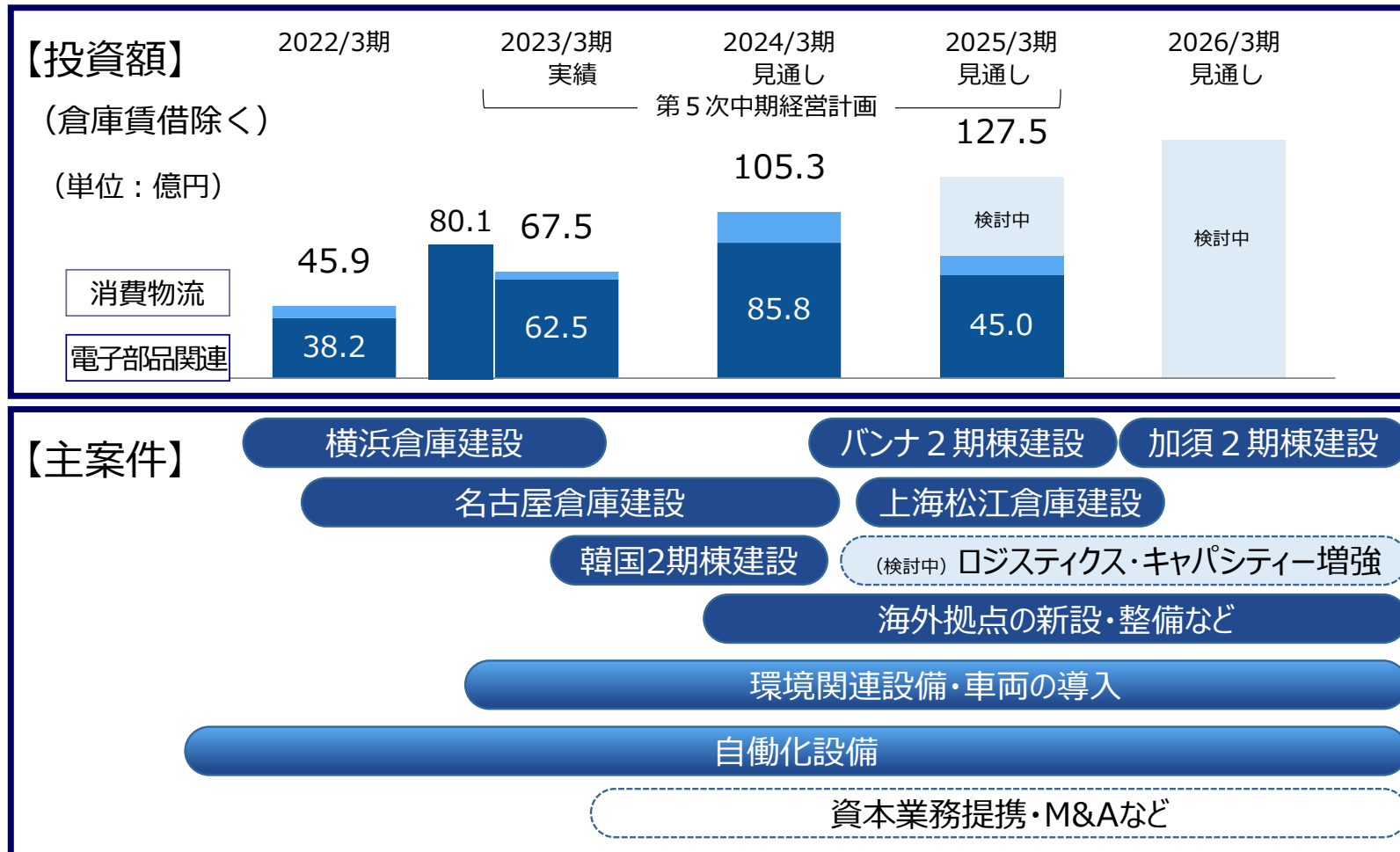
- 配当性向 2023/3期まで概ね30~40% ⇒ 概ね30~50%^へ
安定配当 + 配当性向レンジを上方へ拡大、成長投資と株主還元^{に機動的に資金配分}

負債を活用した資本構成へ

- 自己資本比率 2023/3期59% ⇒ 45%までは負債を活用
M&A等の場合は、負債を最大限に活用

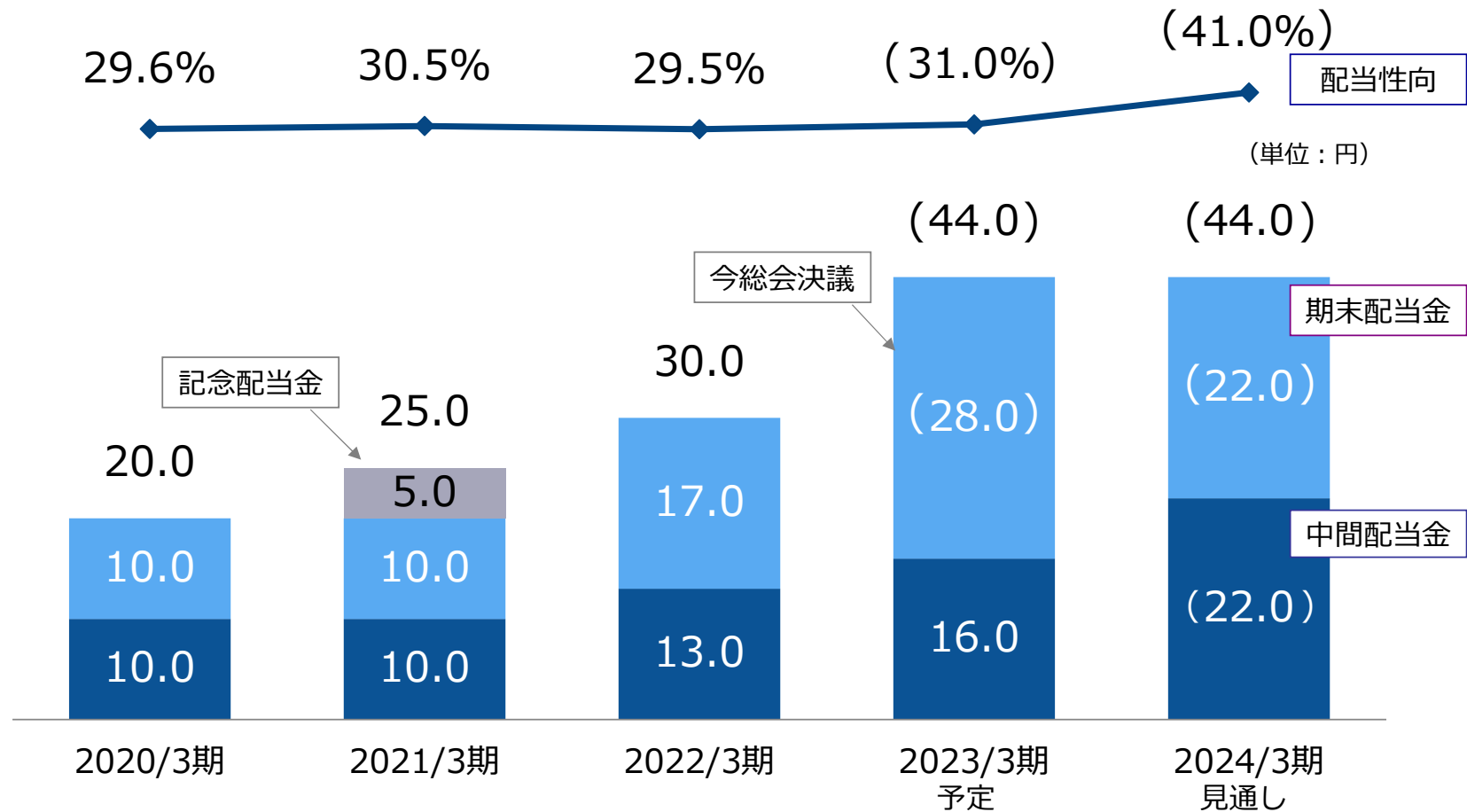
第5次中計投資計画

成長を加速するための投資を拡大



2024/3期配当計画

- 安定配当を基本に成長投資と株主還元機動的に資金配分
- 配当性向は概ね30%~50%の範囲とする



第5次中計方針

地球と社会にやさしく・最適物流の追求と進化

GTB (Get the Business)
市場と商品の拡大

- ①ビジネス領域の拡大
- ②グローバルネットワークの充実
- ③協創・提携体制の拡充

GTP (Get the Profit)
間・直の生産性向上

- ①省人化・自働化の推進
- ②戦略投資の拡大と確実な刈り取り
- ③DXへチャレンジ

GTC (Get the Confidence)
サステナビリティ

- ①ESG対応の強化
- ②安全・高品質の維持確保
- ③非財務資本の維持・強化

電子部品物流 重点施策

国内：保管能力の拡大

- 愛知県小牧市に新倉庫を建設中



- 埼玉県加須市で倉庫を拡張



- 大阪近郊で倉庫を拡張予定

国内計9拠点7万m²の倉庫キャパシティ拡大

- 国内輸送ネットワーク再編 (2024年問題対処完了)

海外：各国で各事業強化

- 各エリアで保管能力の拡大
(韓国・中国・タイ)



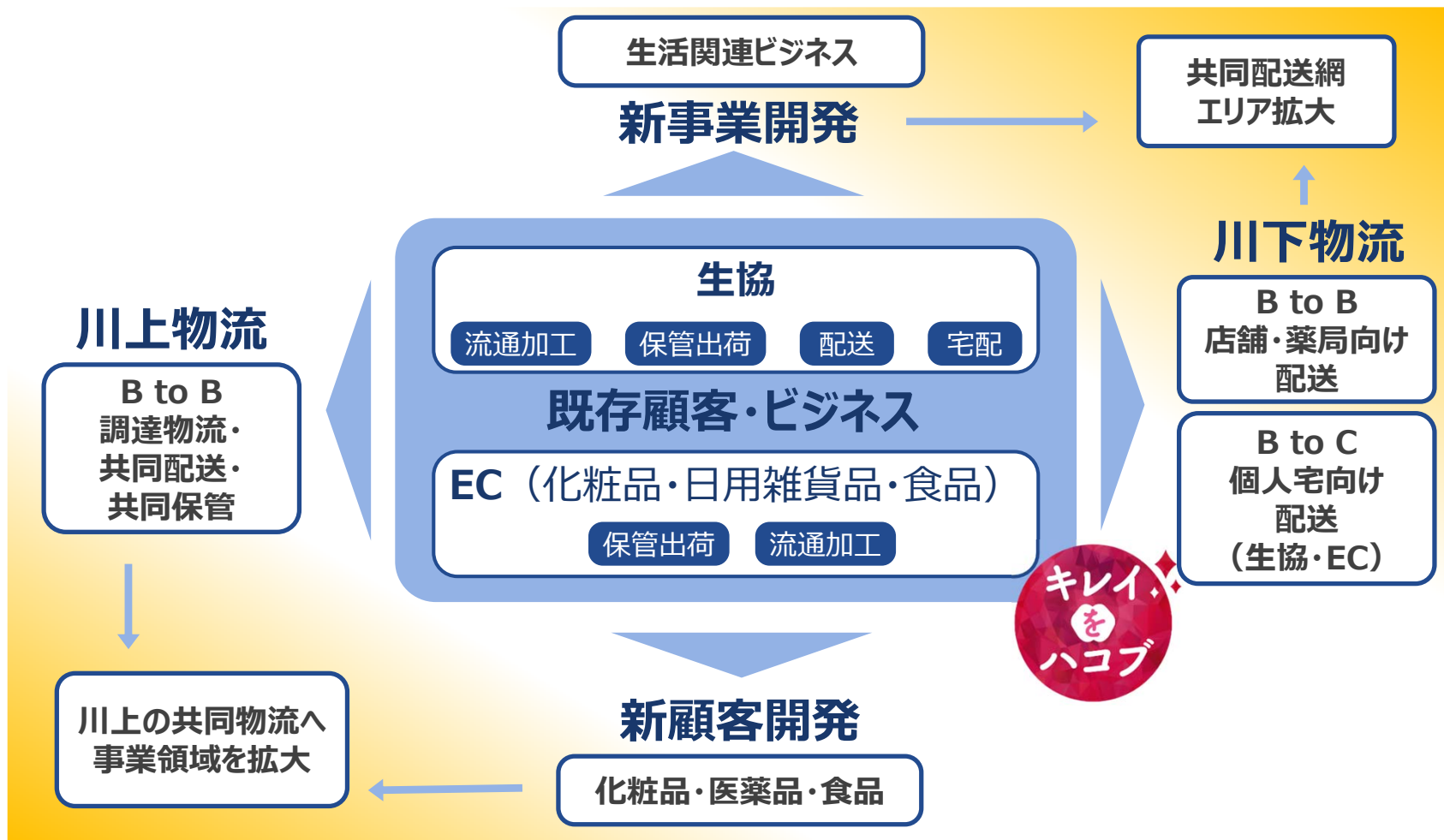
- 新規拠点とネットワークの充実
(中国・韓国・インド・米墨・インドネシア)

- 輸出入事業の自営化を推進
(中国・フィリピン・ベトナム)



消費物流 事業拡大の方向性

共同物流をエンジンにB to B 物流拡販へ



生産性向上の取り組み

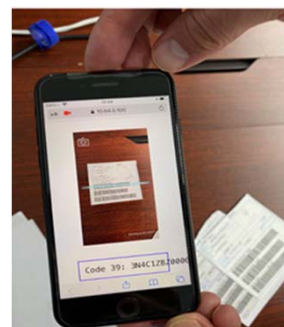
機器・システムの横展開と大型自動化設備の導入

【電子部品物流】

● 可動式高層ラック



● 画像認識入庫検収システム (特許取得)



● 自律走行ロボット(AMR)

2024年度名古屋新倉庫に導入予定



【消費物流】

● AGV x ソーター



*AGV: Automatic Guided Vehicle (無人搬送車)

● 自律走行ロボット(AMR)



*AMR: Autonomous Mobile Robot (自律走行搬送ロボット)

サステナビリティ推進の取り組み

【環境負荷軽減】

- 電子部品物流のプラットフォームでCO2排出量削減に貢献

共同保管+共同集配

経済効率

環境対応

【人的資本の維持・強化】

- 女性活躍推進
 - ・管理職登用に向けた係長職比率の目標を設定
 - ・男女ともに能力開発を支援
- 総労働時間削減
 - ・時間外労働の削減
 - ・年休取得率の管理（70%以上を維持）
- 従業員満足度向上
 - ・労使間で課題形成・協議し、多数の改善を実施

【サステナ提案制度を開始】

- 社員から「地域貢献」「環境負荷軽減」のアイデアを募集
生物多様性、フードロス削減の取り組みも

【健康経営を推進】

- 2023年3月
健康経営優良法人認定



**株主の皆様におかれましては
今後とも一層のご支援
ご鞭撻を賜りますよう
よろしくお願ひ申し上げます**

株式会社 **アールス物流**